

防犯活動日記

(H30/9/5 南西部地域振興センター)

今回はふじみ野市のふじみ野市青色防犯パトカー市民パトロール隊にお邪魔し、お話を伺いました。



■いつ頃から活動されているのですか？

平成23年11月より開始しました。

「街の安心・安全を守る」モットーに住んでいる地域を中心に、防犯パトカーを活用できないかと行政に相談してスタートしました。

■防犯パトロールの概要を教えてください

合計3台の防犯パトロールカーがあり、学校や公園周辺の児童見守りや、住宅街で振り込め詐欺や空き巣対策のためのパトロールを実施しています。



■パトロールにはどのような方が参加していますか？

現在、毎月参加する人は54~55名で、65~78歳の現役を終えた人がほとんどです。



■どのようなことを心がけて防犯活動を行っていますか？

できるだけ住宅地を回っています。商店街・大型店舗付近では、自転車盗難に注意を呼びかけています。住宅街ではオレオレ詐欺の注意をテープで呼びかけながら回っていて、実際に被害防止につながったこともあります。小学校下校時は見守りを兼ねて、通学路のパトロールも行っています。



■パトロールで大変なことや良かったことはありますか？

大変なことは、パトロール中に警察官と間違えられて声をかけられることもあるので、問題があれば110番したり、行政につなげたりといったことです。

良かったことは、地域の人から応援の声かけをしてもらったり、子供達が下校時に手を振ってくれたりすることや、パトロールカーに乗るようになってから、防犯に対する意識も向上したことです。



■今後の課題や抱負をお願いします

この防犯パトロールが、隊員の若返りで長く続いていくことです。

また、自転車盗難が減ると市の犯罪件数も大きく減ってよくなるので、引き続き青パトで注意を呼びかけていきたいと思います。

本日は、ご協力いただきありがとうございました。
今後ともよろしくをお願いします！